



石馬允太郎

晴れた日の空の青と赤石岳の雪の白の美しいこと。これとんよりの寒い日は雪荒れで里は冷たい風と雪の舞。大西山は吹雪いているように白くなります。庭の木々の葉も全て落ち畑の大豆を収穫したり。干した大根を漬けたんたりとせわしかな日々が続いています。紅葉も終わったのに寒いばかりの石馬允、よく来て下さいましたと心の底からお礼申しあげるお客様も本日をもって終了。今まで出来たお仕事を少しずつ片付けていけそうです。そうそう本日前中、日赤奉仕団の活動もあり大西山の梅の手入れ。鶏コンポストをして来た村中の女性たちと梅の会の男性たちおよそ60名程で木々の根の周りにマルチをバラまいて作業は終了。みんなでやらはあんまり広いところと1時間半くらいの時間で終了。団員後員のみなさん「オレから来たんだからやる。」と

いた気持ちで年に2回(それ以上の回)の作業をやっている。美しく咲く梅を期待して作業に励みが出るのかと知りませんが、みんな幼少子のように一生けん命やるのです。初夏と冬のこの作業私も喜んでおこなっています。

石馬允も忙しさとそろそろお正月全部終了。今年も池袋の「バリの朝市」からのお声のおかげで11月15日から長男允は今日東京にお登りした。今更賑やかになってきたのにとたんに年寄り3人の淋しい生活になります。お客様は幸運な人と羨ましく思うこと。年々には允も戻りお正月のお客様は痛めます。打ち切りの日々をいってしまいで恐いですが、気をつけて残り1ヶ月の今年を消化していかなければと思っています。

お花と菊を最後に今は無く花のあと実が目を見て。そういってこれと来ては活花を楽しんでいます。ヒオウギの漆黒の実。野のバラの光沢のある赤い実はとても魅力的です。この野のバラの実は果実酒にも乾燥させて便秘や利尿の薬にも使われるのだそうです。知らないことばかり。早速これからしてみようと思います。つる梅もときや梅もときと冬ならはの花材です。遂に冬本番。暖かくしてお身体どうぞ。お大切に。お過ごし下さいますように。